



# よくある質問 (小児の治療編)



## 患者様からの御質問

子供の乳歯歯列が隙間が多いので心配です。



## 当院からの回答

子供の乳歯歯列、特に前歯部分に隙間があるのは正常なことです。乳歯より形態的に大きい永久歯が正常に萌えるスペースを確保する為に顎の骨が成長し乳歯歯列に隙間が生じることとなります。

## 患者様からの御質問

上の前歯の永久歯の萌え方が斜めで隙歯になっています。何故でしょうか？また、治療の必要はありますか？



## 当院からの回答

上の前歯は『みにくいアヒルの子時代』と呼ばれる隙間があり斜めに萌える時期があります。これらの歯は左右の123の合計6本が交換する時期に隙間がなくなっすぐになるとされています。まずは経過観察し、6本交換後なお解消されない場合には歯科医に御相談ください。

## 患者様からの御質問

乳歯や永久歯が萌える直前に歯茎が青黒くなりました。これは何なのでしょう？また、治療は必要でしょうか？



## 当院からの回答

萌出性嚢胞といい、歯が萌える時、歯が歯茎を突き破ってでてくる際、出血がうまく処置されなく歯茎に一種の血豆のようなものが形成される時にそのような状態になることがあります。歯が萌えたら消失するので治療の必要はありません。

## 患者様からの御質問

生まれた時から歯が萌えていました。これはどういうことなのでしょう？また、治療は必要なのでしょうか？



## 当院からの回答

出生時に歯が萌えている新生児では授乳障害が起こることがあります。その際は歯の抜歯が必要になることもあります。特に問題なければ経過観察を行います。その場合心配することは特にありません。

## 患者様からの御質問

乳歯から永久歯の生え変わりの時期はどのくらい個人差があるのでしょうか？



## 当院からの回答

乳歯の萌える時期も永久歯への交換時期も、個人差があります。乳歯では1歳程でようやく萌え始める方もいます。永久歯への交換では2年前後の幅があります。御心配な場合は小児歯科について豊富な経験のある歯科医へご相談ください。

## 患者様からの御質問

歯がはえてくるのが早い子供はむし歯になりやすく、歯がはえてくるのが遅い子供はむし歯になりにくいと聞いたのですが、本当でしょうか？



## 当院からの回答

乳歯も永久歯も顎の骨の中で成長、成熟しながら萌えてきます。つまり、早く萌えてくる歯は成熟せずに萌えてくる為歯の強度が未熟となり、その結果むし歯になり易くなります。反対に、遅く萌える歯は骨の中で成熟した後萌えてくるので硬い状態で萌えてきます。この結果、むし歯になりにくいと言えます。

## 患者様からの御質問

歯磨きはいつぐらいから開始するのが適切ですか？



## 当院からの回答

乳歯が萌えたら歯磨きを開始することが望ましいと考えられています。

## 患者様からの御質問

舌の下にあるヒダが短くて発音に障害がでると聞きました。どのように治療を行えばいいのでしょうか？



## 当院からの回答

舌の下にあるヒダ(舌小帯)が舌の動きを制限することにより発音に影響がでることがあります。一般的には就学期までに外科的に切除し、発音練習することになります。当院では舌小帯切除ならびにその後の言語訓練について経験豊富な院長が総合的に治療を行います。

## 患者様からの御質問

萌え変わる歯は、どのタイミングで抜くべきですか？  
あるいは、抜けるまで待っていても問題ないですか？



## 当院からの回答

交換期の乳歯は基本的に日常生活に支障を生じていないのであれば必ずしも抜歯する必要はありませんが、食事する際に痛みを生じたり、正常な位置へ萌えていない場合には積極的に抜歯する必要があります。

## 患者様からの御質問

永久歯への交換の際に、下の前歯が乳歯の後ろ（舌寄り）から萌えてきました。これは異常ですか？  
治療はどんなことを行いますか？



## 当院からの回答

下の前歯は一般的に乳歯の後ろ（舌寄り）から萌えてきます。舌側から萌えた後舌に押されて前へ移動し歯列へ並びます。ですので、この状態は異常ではありませんが、永久歯が前に押される際に邪魔にならないように積極的に乳歯を抜歯することが必要になります。

## 患者様からの御質問

こどもが泣いて治療をしたがりません。どうしたら良いのでしょうか？



## 当院からの回答

小児の治療に慣れている歯科医が治療できれば最良です。泣く子供であっても段階を踏んで治療を進めていけばお利口にできることが少なくありません。また、場合によっては泣く状態であっても体を抑えて治療が必要なこともあります。その際も小児治療に慣れた経験が必要になります。

## 患者様からの御質問

子供の歯の萌え変わりが遅くて気になっています。遅いことで何か良くないことがありますか？



## 当院からの回答

乳歯から永久歯への交換時期には個人差がかなりあります。また、乳歯の脱落から永久歯萌出までも個人差があるので心配がないことが多いのが事実です。また、歯は顎の骨の中で硬くなりながらお口の中に出てくるので遅く出てくる方が硬くむし歯になりにくいと言われています。

## 患者様からの御質問

親の自分が永久歯の数が少ないと、子供の永久歯も少ない可能性がありますか？



## 当院からの回答

永久歯がもともと欠損していることを永久歯の『先天欠如』といいます。これは遺伝することが少なくありません。先天欠如の場合にはいくつか注意すべき点があります。詳しくは当院院長のように小児歯科に慣れた歯科医師にご相談頂ければと思います。

## 患者様からの御質問

乳歯はいつか萌え変わりますが、それでも乳歯のむし歯を治療する必要がありますか？



## 当院からの回答

乳歯は確かに将来的に永久歯に交換しますが、乳歯の治療状態が良くないとその乳歯の下に存在する永久歯に良くない影響がでることがあります。例えば後続永久歯の硬さや質や形態が異常になることがあります。つまり、永久歯の為に乳歯の適切な治療が必要と言えます。



## 患者様からの御質問

9歳の息子が検診で永久歯の数が足りないと言われました。どうすればいいのでしょうか？



## 当院からの回答

乳歯の下の永久歯が存在しない場合、成人になってからも乳歯を使い続けることとなりますが、乳歯は遅くとも30歳過ぎには脱落することがほとんどです。将来的に欠損した歯の周囲の歯の補綴は必要ですが、まずは欠損した部位の隙間をそのままに保つことが必要となります。

## 患者様からの御質問

歯並びの悪さは遺伝しますか？



## 当院からの回答

いくつかの歯列不正は遺伝すると言われています。特に下顎が前にでる歯列不正は遺伝がかなり大きいとされています。ただし、子供の歯並びの悪さは遺伝以外の要素、例えば指しゃぶりはタオル噛み、唇吸引などの癖でも大きく歯並びは変化します。

## 患者様からの御質問

親が歯並びが悪くないのに、4歳になる娘は歯並びが悪く、上と下の前歯の間に隙間があります。何故ですか？



## 当院からの回答

歯並びは遺伝に関係するものと関係しないものがあります。3歳、4歳頃によくある歯列の不正の原因に『お口に関する癖』があります。爪噛みや指しゃぶり、タオル噛みなどです。これらがあると歯並びに影響がでてくる可能性があります。保護者の気付かない時にしていることもあるので、注意して観察する必要があります。

## 患者様からの御質問

乳歯が癒合していると言われました。原因は何ですか？それと、永久歯へ影響はありますか？



## 当院からの回答

歯がどのように作られるかは、現在のところ全ては解明されていません。歯ができるどこかの段階で間違いが起こると歯が癒合することがあります。乳歯の癒合が起きた場合、その次の永久歯が欠損していることが多くあります。まずは小児歯科に慣れた歯科医の指示をあおぐことを御勧め致します。

## 患者様からの御質問

仕上げ磨きの前に子供自身にも歯磨きさせた方がいいと聞いたことがあります。その理由を教えてください。



## 当院からの回答

子供は早くても小学校低学年ぐらいにならないと自分一人でしっかり歯磨きできることはありませんので、仕上げ磨きは必要です。ただ、子供自身にも毎日磨かせることで、毎日歯磨きをするという習慣を子供につけることができるので、不十分でも毎日お子様本人に磨かせることが重要となります。

## 患者様からの御質問

1歳半の息子が仕上げ歯磨きを嫌がります。どうすればいいですか？また、何に注意すればいいですか？



## 当院からの回答

3歳前後まで仕上げ歯磨きを嫌がるお子様は多いので、嫌がっても抑えて行うようにしている保護者様が多いのが現実だと思います。上手になる日まで諦めず磨くことが大切です。大変であれば上の歯中心に磨く日と、下の歯中心に磨く日を交互に繰り返すことも方法の一つです。

## 患者様からの御質問

子供の歯磨きの注意点を教えてください



## 当院からの回答

子供の歯磨きで大切なことは仕上げ磨きの前に自分で磨く習慣をつけることです。そして、多少低年齢の頃は嫌がってもしっかり歯磨きを行うことが大切です。汚れが残り易い場所は下の奥歯の舌側、上の奥歯の頬側、上の前歯のひだの近くなどです。

## 患者様からの御質問

永久歯がもともとなく、成人になった今も乳歯があります。今後、この乳歯がどうなるのか、教えてください。



## 当院からの回答

永久歯が先天的に欠如している場合には乳歯が成人になってもそのままになることがあります。この乳歯は平均的に30歳前後に脱落することがほとんどです。理由は色々ありますが、そもそも乳歯は成人のお口の中を想定して存在している訳ではないということです。脱落後はブリッジやインプラントで補うことが一般的です。

## 患者様からの御質問

歯医者へ通うのは何歳からがいいのでしょうか？



## 当院からの回答

むし歯があるのであればすぐに通院を開始してください。その場合は小児歯科に慣れた歯科医がいる医院がいいでしょう。むし歯がなく、定期検診とフッ素塗布であれば1歳を過ぎたら通院することをお勧めします。普段から慣れた環境であれば仮にむし歯ができた時にでもスムーズに治療を行うことができます。

## 患者様からの御質問

子供の矯正治療は何歳から始めることができますか？



## 当院からの回答

矯正治療は子供から始める治療と大人から始める治療と大きく2つに分かれます。それぞれにメリット、デメリットがあります。子供から始める矯正治療は上下の前歯が萌え替わった時期に始めることが一般的です。個人差はありますが、小学校の低学年頃になります。それぞれのメリット・デメリットについては別紙を御覧ください。

## 患者様からの御質問

子供の時に始める矯正治療と大人になってから始める矯正治療では何が違うのでしょうか？



## 当院からの回答

歯を奇麗に並べるという目的は変わりませんが、最も異なるのは子供は成長中であるということです。大人は成長が終わっているので狙った場所に歯を動かすことができますが、子供は成長に合わせて修正が必要になります。また、骨の硬さも違うので歯を動かす時間、時間に伴う治療費も異なります。

## 患者様からの御質問

仕上げ磨きは何歳まで行うべきですか？



## 当院からの回答

教科書的に仕上げ磨きは、どんなに長くても10歳ぐらいまでと書かれています。歯磨きが上手なお子様はもう少し早い時期に仕上げ磨きを止めても大丈夫ですが、よく磨けているかどうかの判断は定期的に『かかりつけ』の歯科医院に通院し判断してもらうようにしましょう。

## 患者様からの御質問

## 当院からの回答

むし歯がなくても子供の頃から歯科医院に通った方がいいですか？



乳歯の時むし歯がない子供は永久歯になってもむし歯が少ないと言われています。また、最近の子供は顎が小さく永久歯の萌えるスペースが少なくなる傾向にあります。乳歯から永久歯への正常な交換を観察することも大切です。さらにフッ化物塗布によりむし歯を予防することも大切です。むし歯のないお子様も定期的な検診を御勧め致します。

## 患者様からの御質問

## 当院からの回答

12歳の息子の下の大臼歯がはえてくる時期に、黄ばんで硬いものがありました。これは何でしょうか？



おそらく、それは『腐骨』と呼ばれるものです。6歳臼歯や12歳臼歯は乳歯に生え変わるのではなく、歯茎から出てきます。その際、骨の『できそこない』の腐骨が異物として体外へ排出されます。

## 患者様からの御質問

10歳の息子の下の小臼歯に『角』のような突起がありますが、これは何でしょうか？また、注意することはありますか？



## 当院からの回答

その突起は『中心結節』と呼ばれ、下の小臼歯の噛む面に見られることがあります。この突起は噛むことで折れ、神経が露出し激しい痛みを伴うことがあります。まずはこの突起が折れないように補強することが重要です。折れて神経が露出した場合には根の治療が必要になります。

## 患者様からの御質問

子供の下の小臼歯にむし歯がないのに痛みが生じ、根の治療が必要と言われました。この理由を教えてください。



## 当院からの回答

下顎の小臼歯の噛む面に突起があることがあり、これを『中心結節』と呼んでいます。この中心結節が上顎の歯と噛むことで折れて神経が露出して唾液中の細菌で感染することにより根の治療が必要となります。まずはこの突起が折れない対策が必要なので小児歯科に詳しい歯科医を受診することを御勧め致します。



## 患者様からの御質問

子供の仕上げ磨きは何歳まで行うようにすればよいですか？



## 当院からの回答

教科書的にはどんなに長く仕上げ磨きしても10歳くらいまでと記載されております。手先が器用なお子様だと小学校2年生くらいにはうまく磨くことができますが、週1回程度は大人が目を確認するようにしましょう。

## 患者様からの御質問

過剰な歯があると言われました。どうすればよいですか？また、放置すればどうなりますか？



## 当院からの回答

過剰な歯を過剰歯といいます。過剰歯は上の前歯の周囲に多く、正常な歯の交換や歯並びに悪影響を与えることがよくあります。

基本的には抜歯することになりますが、抜歯後矯正治療が必要になることがほとんどです。詳しくは院長へ御質問ください。

## 患者様からの御質問

子供の仕上げ磨きで汚れが残り易い場所ってどこですか？



## 当院からの回答

ずばり、子供の仕上げ磨きで汚れが残り易いのは、  
①下の奥歯の舌側  
②上の奥歯の頬側  
③上の前歯のど真ん中  
です。詳しくは、院長に御質問ください。

## 患者様からの御質問

ある限られた条件で、13歳以上でもフッ素を保険で塗布できると聞きましたが、本当ですか？



## 当院からの回答

本当です。エナメル質に初期脱灰という初期むし歯がある患者様についてのみ、その初期齲蝕の御写真を御取りして塗布するということがあります。詳しくは院長まで御質問ください。

## 患者様からの御質問

色んなことについてですが、小児科の先生と小児歯科の先生の言うことが異なることがあるのですが、それは何故でしょうか？



## 当院からの回答

ずばり、小児科と小児歯科では見ている部位や考える視点が異なります。つまり、重要と考える中心が異なります。当院院長は、それを具体的に説明致します。詳しくは診療時に御尋ねください。

## 患者様からの御質問

小児の検診は3ヶ月に1度という根拠はどういう考えからですか？



## 当院からの回答

乳歯や萌えたての永久歯は完全な状態ではなく、大人の永久歯に比べると比較的柔らかいといえます。乳歯の場合、仮に小さなむし歯を見逃しても神経の治療にならない期間が3ヶ月と言われています。よって、小児の場合3ヶ月に1度の検診が適切といえます。

## 患者様からの御質問

乳歯の破片の残りが歯茎からでてくることがあると聞いたことがあります。本当でしょうか？



## 当院からの回答

本当です。乳歯が萌え変わる時に様々な理由で乳歯の一部分が歯肉の中に残ることがあります。このような時は人間の『異物排出機能』を利用して乳歯のかけらが歯肉の外へ出てきます。歯肉に出てくれば除去しません。場合によっては麻酔を使用することがあります。

## 患者様からの御質問

サホライドって何ですか？むし歯が治ると考えて良いのですか？



## 当院からの回答

『サホライド』とは、銀イオンが含まれている薬品で、むし歯の進行を抑制します。簡単に言えば、むし歯菌が歯を溶かして「歯に穴を開ける速度を遅くする」薬です。従ってむし歯はこの薬を塗るだけでは治癒しません。この薬品は銀イオンを含むので塗布された歯は真っ黒になることがデメリットです。

## 患者様からの御質問

「果汁入り天然水」という見た目が水で飲むと果汁の匂いや味がする飲み物が最近ありますが、これらはむし歯になるのですか？ならないのですか？



## 当院からの回答

果汁入り天然水やフレーバー天然水なるものが、最近巷で販売されていますが、それらは実はかなり酸性度が高いものが多いのが現実です。酸性度が高いと歯を溶かす可能性があります。飲み方を注意しないと歯が溶けてむし歯と同じ状態になる可能性があります。

## 患者様からの御質問

「永久歯が萌える時に乳歯ではなく他の永久歯を壊すことがあると聞いたのですが、本当にそういうことがあるのですか？また、それはどんな時に起こりますか？



## 当院からの回答

非常に怖いことですが、応えは「Yes」です。ある時期に特定の条件がそろってしまふと起こることがあります。最も多いのは上の犬歯が萌えてくる時に方向が正常ではないときに起こります。



## 患者様からの御質問

「子供の歯に小さな黒い斑点のような着色があるのですが、これはむし歯ですか？子供は痛いとも何とも言いませんが。」



## 当院からの回答

結論から言うと、これはむし歯ではありません。「黒色素産生菌」という菌が黒い色素を産生して歯に着色を着けている、というのがこの質問への答えです。この菌はむし歯にならない人に多いと言われていています。見た目だけ気になるので定期的に歯科医院で除去してもらいましょう。詳細は当院院長まで御質問ください。

## 患者様からの御質問

Blank box for patient question.



## 当院からの回答

Blank box for hospital answer.